

成果指標				
成果指標	(実績)執行済額/消防団設備費予算額×100(目標)消防団設備費予算額=執行済額			
指標設定の考え方	緊急出動時など、日常の防災力の充実化を図るものであり、消防団配備車両等の整備を適正に行うための必要経費を計上し、適正な執行を測定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	24353	33585	0	0
実績	20348	25412	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成27年度に消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ自動車1台を配備し、本市の地域防災力の充実強化が図れた。厳しい財政事情であるが、整備計画に基づいてポンプ車等更新することが地域防災力の充実強化となり、防災減災が図られると認識している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防施設等整備計画に基づき老朽化した消防車両や小型動力ポンプの更新を図るとともに維持管理に努め、火災等に備えた消防団設備の充実を図る必要がある。厳しい財政状況も勘案し必要に応じて整備計画の見直しを検討する必要がある			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	今後も一般財源の不足が見込まれることから、現在の整備計画を精査し、財政計画を反映した計画を立案する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。